

あれ

これ

町政を問う

Q 松前町の将来に、安全安心な地下水源の確保について

A 安全な水の確保と供給を図ります

質問者



加藤 博徳 議員

問

地球の温暖化と言われている昨今、今年も夏の異常な暑さ、局地的な豪雨又、記録的な小雨による渇水など、異常とも言える気象の影響か、秋が早く即冬の到来を迎えています。中川原地区では、30年前前はいたる所に自噴池がありましたが、最近では、異常気象だけの影響では無いと思うのですが、自噴池もほとんど無く、又田お耕しをすれば土けむりを上げる事が多くなり、地下水位の低下を日々実感しているのは、私の地区だけでは無いと思えます。少し晴天が続けば、農業用水源の重要な河川である重信川は、天井川に変わり農作業に必要な水も、地下水に頼らざるを得ない状態になります。周辺ダムの貯水量も激減します。したがって地下水への依存度が、益々高くなっていくものと思えます。松前町周辺の松山市と伊予市では、地下水への採水依存が高いと聞いていますが、松

前町の将来に安全安心な水の確保についてのお考えと、周辺地域の採水による、松前町への影響と対応について、聞かせ下さい。

答

白石町長

松前町では昭和26年に上水道の工事に着手し28年より、義農公園南の水源地より給水を開始し、

その後水源地を西古泉に移転と共に町内各地の簡易水道を統合して全町的な上水道網が完成しました。これらの水源は一貫して地下水に依存しております。平成6年の大渇水の際に一時的に地下水の低下はありました。各種産業活動、生活雑排水による影響で水源における安全性の確保が課題に



ひよこたん池

なっています。こうした事への対応をするため、第6次水道事業拡張計画を策定し継続的に取り組んでいます。松山市では1日当たりの給水量14万m³の内50%、伊予市でも1日当たり1万m³を地下水に依存しています。これらの井戸は松前町と境界に接しているので相互に影響していると思えます。今年も雨が少なく井戸水を利用している家庭の一部で影響が出ています。松前町の上水道は必要水量を確保しており、今のところ安定した給水を行っています。地下水は地表から見えないから将来的にも安定した利用を確保することが非常に厳しい水源で有ります。住民の皆さんに安全第一に、おいしい水の供給を図っていくことは大切だろうと思えます。松前町には山は有りませんが、山を大切にしていく気持ちを持ち続ける事が大事だと考えています。